

サポートセンター検討報告書の内容を十分勘案しながら、まずは既存の施設の中で検討しました。交通の利便性や駐車場の確保、施設内にある他のスペースの活用も図れるということから、この場所を活用して試しに行いたいと決めました。

広さに疑問を感じるが

問 市民活動団体の皆さんが、気軽に予約なしでミーティングができるスペースも必要と思う。部屋を見たところ、広さに疑問を感じるが見解を伺う。

市長 検討報告書で「提言を」頂いた内容からいけば、かなり狭いと率直に感じています。まず試しに行って、その上で問題点、課題等がいろいろと出てくると思いますので、それらを十分にクリアできる場所を最終的に選択しなければならぬと思います。

問 管理運営形態を伺う。

市長 できるだけ公設民営で進めることができればと思います。しかし、まずは試しに行うということで、市で直接運営し、相談業務等はノウハウを持った団体

に委託するという形態です。ターゲットしなければならぬと思います。



旧勤労青少年ホーム

玉浦西地区のまちづくり



佐藤 淳一

問 玉浦西まちづくり検討委員会の役割を伺う。

市長 地域の意見がまちづくりに最大限尊重されるようご意見を頂いています。

問 周辺地域への配慮は。

市長 生活利便施設や公園などは近隣地域との連携が必要であり、配置もそれを

踏まえて検討します。近隣の皆さんとのしつかりとした人間関係が構築できるよう調和のとれたまちづくりを進めます。

問 玉浦西地区を環境未来都市のモデルタウンにするべきと考えるがどうか。

市長 自然エネルギーを生かした、未来型の環境に配慮した先端モデル都市をぜひ目指したいと思えます。

核になる公共施設を

問 玉浦西地区には玉浦の中心としてこれからの成長、発展に貢献して欲しいと思う。そのためには新しいまちの核になるような公共施設、例えば子育て世代に重要な東保育所の移転など考えるべきと思うがどうか。

市長 福祉施設等は再検討し、配置できるものはしていかねばならないと思います。

問 新しい岩沼の象徴となる千年希望の丘やナシヨナルパーク構想、復興した農業、防災・減災の施策等、復興への取り組みの全てを発信し、今後岩沼のPRをしてはどうか。

市長 できるだけ早く安全

なまちをつくり、PRしていきたいと思えます。

改正「介護保険法」の施行に関して



松田 由雄

問 訪問介護の生活援助時間区分再編によって、ヘルパー生活援助(掃除、洗濯、調理、買い物)などの家事支援サービスは1回45分になり、要介護高齢者と事業所から不安と不満が出ていることについて伺う。

市長 現時点においては利用者、事業者からは不満の声は寄せられていません。

厚労省見解どう思う

問 厚生労働省は「45分以内しかできない」というのは誤解である」と、介護報酬上の時間サービスは提供できると言い訳をしていることについて伺う。

市長 国の説明としても、必要なサービス量の上限等を付したわけではなく、利用者個々の状況に応じた介

護支援専門員とサービス提供責任者による適切なアシメント及びケアマネジメントに基づき、利用者のニーズに応じた必要な量のサービスは提供すべきと思っています。

問 介護予防日常生活支援総合事業は、要支援の人たちの介護サービスを抑制されるのではないか。健康福祉部長 サービスが抑制されることにはならないと考えます。

防災集団移転と住宅支援策



佐藤 一郎

問 災害危険区域指定前に個別移転された方への利子補給の内容はどのようなものか。

建設部長 指定前に個別移転された方の利子補給については、今回の補正予算に計上しています。内容は、約79世帯を対象に概ね利子補給金額を計上しています。